

措置実施状況報告書

令和 4年度分

会 社 名 風間建設株式会社

代 表 者 名 風間 純哉

提出年月日 令和5年12月26日

担当者連絡先

課・係	
職・氏名	
電話番号	055-262-2036
メールアドレス	

1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

当社は平成23年4月に公正取引委員会により排除措置命令を受けて以降、談合に関わらない目的で山梨県建設業協会を自主的に退会し、現在まで公共工事の入札には一切参加しておりません。

当社が山梨県建設業協会を退会した後も、笛吹市の入札不正事件や市川三郷町・富士川町の入札談合事件が発覚するなど、公共入札に関わる事件が続いております。

当社としては過去の法令違反を深く反省し、公共工事の入札に参加しないことが再発防止の最善策と考え、今後も公共工事の入札に参加する予定はありません。

公共工事入札不参加に伴い、当社は建設業としての事業を大幅に縮小しました。

今後は関連会社の介護事業を通じて、地域の課題である高齢社会に貢献することを目的に、地域高齢者のための減災に資する活動やICTを活用した活動に取り組んでいく所存です。

2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と違反することがないよう自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 取組の趣旨

独占禁止法に違反しないため、同法の最新の法改正を確認するとともに、独占禁止法の趣旨を再確認し、二度と法令違反を犯さないよう経営者を含めた全社員に周知徹底する。

(3) 活動の概要

公正取引委員会のホームページから、独占禁止法の概要、制度、Q&A、法改正の状況、各種ガイドライン、各種パンフレット等の該当部分を資料として取り上げ、社内研修を実施する。特に、独占禁止法の目的や具体的な法令違反行為、社会経済環境の変化に応じた取り組みなどを重点的に学習する。研修内容は経営者自らが企画し、必ず社員も参加させ、二度と関係法令違反を犯さないよう、全社的に過去を反省するとともに、これからの決意をあらたにする。

(4) 主な活動の詳細

① 社内研修会の実施

実施日：令和5年3月1日

実施場所：当社1階会議室

内容：独占禁止法の法改正状況の確認。最近の法令違反行為の確認。公正取引委員会が取り組む競争政策などについて、資料を用いて学習した。

参加者：全社員（社長、正社員1名）

感想や課題：令和4年度は学校用コンピュータ機器や病院が発注する医事業務、医薬品の入札において排除措置命令が出ており、また東京オリンピックに関する業務委託で刑事告発がされるなど、幅広い業務にて独占禁止法遵守の意識が求められることを改めて全社員で共有、確認することができた。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
①社内研修会		
人件費	50,000 円	資料の収集等、企画にかかる人件費 50,000 円×1名
合計	50,000 円	

3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に資する取り組みの報告

(1) 取組期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 取組の趣旨

笛吹川が氾濫した場合を想定し、関連の介護会社と連携し、地域の高齢者の避難経路を調査し、有効な避難先を整備するための検討を進めた。
新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえて、感染症対策に十分配慮した避難につき、検討した。
また、災害時に備えた車両の維持管理を行った。

(3) 活動の概要

笛吹市ハザードマップ、山梨県土砂災害警戒区域等マップ、山梨県・洪水浸水想定区域を参考に、特に笛吹川が氾濫した場合の被害想定について調査を継続した。
今年度は特に、避難時や避難場所での新型コロナウイルスの感染症対策について調査、検討を進めた。
また、災害時に備え車両の維持管理を行った。

(4) 主な活動の詳細

① 笛吹川氾濫時の避難場所整備について調査・検討

実施日：令和4年4月1日～令和5年3月31日(通年)
内容：関連の介護事業会社と連携し、新型コロナウイルスの感染症対策に十分配慮した高齢者の避難方法、避難場所について調査・検討した。昨年度から引き続き、笛吹川左岸地域の笛吹市指定避難場所である石和東小学校近辺に、高齢者向けの避難場所設置の計画を検討している。
参加者：社長
感想や課題：新型コロナ感染症の影響や建設費の高騰で避難場所の設置はすぐには困難な状況だが、次年度以降も引き続き取り組みを続ける。

②災害時に備えた車両の維持管理

実施日：令和4年4月1日～令和5年3月31日（通年）

内容：災害時に対応できるよう車両の維持管理を実施する。

実施車両：1台

ホイールローダー 車両保険

軽自動車税（笛吹市）

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
①笛吹川氾濫時の避難 場所整備について調 査・検討		
人件費	800,000 円	調査・検討にかかる人件 費 400,000 円×2名
②災害時に備えた車両 の維持管理		
車両保険代	23,680 円	年額
軽自動車税	5,900 円	年額
合計	829,580 円	

4 雇用の維持、確保、事業の高度化、効率化への積極投資の取り組みの報告

(1) 取組期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 取組の趣旨

少子高齢化が急速に進展し人口が減少する中で、地域社会の活力を維持するため、働く意欲がある高齢者がこれまで培った経験と技術を十分に発揮できるよう、定年後の高齢社員を臨時雇用として積極的に再雇用し、雇用の維持に務めた。

(3) 活動の概要

少子高齢化が急速に進展し人口が減少する中で、地域社会の活力を維持するため、働く意欲がある高齢者がこれまで培った経験と技術を十分に発揮できるよう、定年後の高齢社員1名を、土木施工管理技士、建築施工管理技士としての資格や経験、技術を生かして臨時雇用として積極的に再雇用し、雇用の維持に務めた。

(4) 主な活動の詳細

① 定年後の高齢社員の再雇用

実施日：令和4年4月1日～令和5年3月31日（通年）

内容：定年後の高齢社員1名を、土木施工管理技士、建築施工管理技士としての資格や経験を生かして臨時雇用として再雇用した。

対象人数：男性1名

感想や課題：これまでの経験や技術、また顧客との関係性を十分に生かして、意欲的に仕事に取り組んでもらうことができた。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
①定年後の高齢社員の再雇用		
人件費	1,088,546 円	給与 1,057,000 円 通勤手当 31,546 円
合計	1,088,546 円	

5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費合計(円)
令和3年度	50,000 円	819,546 円	683,888 円	1,553,434 円
令和4年度	50,000 円	829,580 円	1,088,546 円	1,968,126 円
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				
令和8年度				
合計				3,521,560 円

○公正入札違約金額等

(円)

公正入札違約金額(1)	51,248,250円
調停条項で定めた令和3年内支払い額(2)	2,763,272円
調停条項で定めた分割支払い分総額(3)	12,812,062円
(1)と(2)及び(3)の差額	35,672,916円